

令和3年度 学校推薦型選抜学生募集要項

□障がい等を有する等の入学志願者との事前相談の申し出期限

令和2年10月2日（金）午後5時まで

□出願期間

令和2年11月1日（日）～11月8日（日）

※11月8日（日）の郵送発信局消印有効

□試験日程・集合時間

○絵画専攻（美術工芸学部）

令和2年11月21日（土）～11月22日（日）のうちいずれか指定する1日

各入学志願者に連絡する指定時間までに集合

○芸術学専攻（美術工芸学部）

令和2年11月21日（土）～11月22日（日）のうちいずれか指定する1日

各入学志願者に連絡する指定時間までに集合

○デザイン専攻（美術工芸学部）

令和2年11月21日（土）～11月22日（日）のうちいずれか指定する1日

各入学志願者に連絡する指定時間までに集合

○工芸専攻（美術工芸学部）

令和2年11月21日（土）～11月22日（日）のうちいずれか指定する1日

各入学志願者に連絡する指定時間までに集合

○音楽表現専攻（音楽学部）

令和2年11月21日（土）～11月22日（日）

○音楽文化専攻（音楽学部）

令和2年11月21日（土）～11月22日（日）

○琉球芸能専攻（音楽学部）

令和2年11月21日（土）～11月22日（日）

□追試験日程

令和2年11月28日（土）、11月29日（日）

□合格者の発表

令和2年12月4日（金）午前10時 ※本学ホームページ掲載

合格者には合格通知書を郵送する

□入学手続期間

令和2年12月11日（金）～12月18日（金）

※12月18日（金）の郵送発信局消印有効

◇新型コロナウイルス感染拡大の状況をふまえ、安全かつ円滑に入学者選抜試験を実施するため、遠隔による試験を導入します。また、今後の状況によっては入試科目の見直し、試験方法及び日程等を変更する場合があります。その場合は大学ホームページで告知します。



令和2年8月
沖縄県立芸術大学

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地

電話 (098)882-5080

<http://www.okigei.ac.jp>

令和3年度 沖縄県立芸術大学 学校推薦型選抜学生募集要項

目 次

第1	アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、 ディプロマ・ポリシー	1
第2	募集人員・出願資格・高等学校からの推薦人員・選抜方法	
1	美術工芸学部	
(1)	募集人員	5
(2)	出願資格	5
(3)	高等学校からの推薦人員	5
(4)	選抜方法	
ア	美術工芸学部 美術学科 絵画専攻	6
イ	美術工芸学部 美術学科 芸術学専攻	6
ウ	美術工芸学部 デザイン工芸学科 デザイン専攻	7
エ	美術工芸学部 デザイン工芸学科 工芸専攻	7
(5)	試験科目一覧	7
2	音楽学部	
(1)	募集人員	8
(2)	出願資格	8
(3)	高等学校からの推薦人員	8
(4)	選抜方法	
ア	音楽学部 音楽学科 音楽表現専攻	8
イ	音楽学部 音楽学科 音楽文化専攻	9
ウ	音楽学部 音楽学科 琉球芸能専攻	9
(5)	試験科目一覧	9
第3	出願手続	
1	出願期間	10
2	出願方法	10
3	出願先	11
4	出願上の注意	11
第4	試験期日	11
第5	受験上の注意	12
第6	合格者の発表	12
第7	入学手続	
1	入学手続期間	12
2	提出書類	12
3	入学料の納入	12
4	入学手続場所	12
5	留意事項	12
6	入学料の減免について	13
第8	その他	
1	障がい等を有する等の入学志願者との事前相談	13
2	入試成績開示請求について	13
◎	大学案内	13
◎	沖縄県立芸術大学の概要	14
◎	学生生活	15
※	出願書類等（綴込用紙）	
○	美術工芸学部学校推薦型選抜願書・受験票・写真票	
○	音楽学部学校推薦型選抜願書・受験票・写真票	
○	推薦書	
○	志願理由書	
○	入学考査料領収書・領収書原符	
○	受験票送付用封筒	
○	出願書類提出用封筒	

令和3年度 沖縄県立芸術大学 推薦入試学生募集要項

第1 アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

■アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

1 教育の理念

沖縄県立芸術大学の建学の基本的な精神は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追究することにあります。これに基づき、伝統芸術の継承と発展にとどまらず、新たな芸術創造の可能性を広げ、幅広く芸術分野で活躍できる人材を育成していきます。さらに、学生の専門的力を高め、豊かな人間性と社会性を身につける教育を目指します。

2 本学の求める人材

- ・本学の教育の理念をよく理解し、学習に必要な基礎的知識・技能を備えている人
- ・芸術に強い関心があり、自ら課題を発見し解決するための思考力や判断力、表現力を備えている人
- ・多様な芸術文化に興味を持ち、主体的に人々と協働し、現代社会に向けて新しい芸術創造の営みを発信していく意欲に満ちた人

3 入学者選抜の実施

- ・本学では一般選抜、学校推薦型選抜及び社会人選抜を実施します。

4 入学者選抜試験の基本方針と実施

- ・一般選抜においては、大学及び各学部のアドミッションポリシーに基づき、大学入学共通テストの成績を利用した選抜試験と個別学力検査等（実技検査、小論文、口述試験、面接等）を実施します。なお、大学入学共通テストについて、美術工芸学部では、国語、外国語及びその他任意の1科目の合計3科目を試験科目として課します。音楽学部では、国語、外国語の合計2科目を試験科目として課します。
- ・学校推薦型選抜においては、実技検査、小論文、面接等を実施します。
- ・音楽学部の社会人選抜においては、個別学力検査等（専攻試験、小論文等）を実施します。

いずれの試験においても、本学の学習に必要な「学力の3要素（知識・技能、思考力・判断力、表現力・主体性等）」を測り評価します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

沖縄県立芸術大学のカリキュラムは、ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を獲得できるよう、4年間を通して全学教育科目を選択履修し、全学年にわたり専門分野の実技や理論を基礎から高度な内容まで、段階的に履修することを基本に授業科目を編成します。

その上で、さまざまな技術や学問を幅広く主体的に学べるよう配慮し、学生の多様な個性を尊重しつつ、自ら感性を磨き、社会との関係を考え発信していく能力を高める教育を行います。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定、学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学では、大学及び各学部の教育理念に沿った専門教育と教養教育において成果をあげ、最終学年における卒業作品又は卒業論文の提出あるいは卒業演奏を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。その際、学生が獲得しておくべき学修成果は以下のとおりです。

- 1 美術工芸又は音楽の分野における基本的な知識を体系的に理解し、その知識体系の意味と自己の存在を歴史や文化、社会と関連付けて理解している。
- 2 知的活動や職業生活、社会生活においても必要となるコミュニケーション能力、論理的思考力、問題解決力などの汎用的基礎能力を身につけている。
- 3 卒業後も社会的責任を認識し、生涯を通じて自律的に学び続ける能力を身につけている。
- 4 1から3までの知識や能力等を総合的に活用し、創造的な思考力をもって自らの課題を探求し、解決する能力を身につけている。

美術工芸学部アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

沖縄県立芸術大学美術工芸学部では、沖縄の伝統に根差した美術工芸はもちろん、造形芸術に新たな地平を切り拓き、自ら社会的役割を見出せる作家や研究者などの専門家の養成をめざします。

高い技術や専門知識、総合的かつ国際的な視野を身につけ、次代を担う個性的で優れた人材を育成します。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

【教育の理念】

大学の基本理念に基づき、沖縄県立芸術大学美術工芸学部では、沖縄の伝統に根差した美術工芸はもとより造形芸術に新たな地平を切り拓き、自ら社会的役割を担える作家、研究者、教育者などの専門家を育成するため、専門的素養と総合的知識、国際的視野を身につける教育を行います。

【求める人材】

美術工芸学部の教育を達成するために、次に掲げる知識・技能や能力（思考力・判断力・表現力等）、目的意識・意欲等を備えた人材を求めます。

- 1 本学及び美術工芸学部の教育の理念をよく理解し、大学での学習に必要な基礎的な知識と技能を備えている人
- 2 美術・デザイン・工芸分野における制作や学習において、自ら課題を発見し解決するための思考力、判断力、表現力を備えている人
- 3 美術・デザイン・工芸分野において作家、研究者、教育者などの専門家になる意欲のある人
- 4 芸術文化の多様な背景を理解し、人とのコミュニケーションを大切に考え、社会性を認識し主体性を持って他者と協働できる人
- 5 沖縄固有の芸術文化や自然等に関心があり、沖縄で学ぶことに意義を見出せる人

【入学者選抜試験の基本方針と実施】

美術工芸学部においては、学部の教育理念を踏まえ、各専攻の専門性に沿った試験を課し評価します。また、専攻ごとに設定された多様な入試科目において、学力の3要素（「基礎的な知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性・多様性・協働性」）を総合的に評価します。なお、入試区分及び募集枠ごとに総合点の上位から合格者の選抜を行います。

各入試区分における評価方法は以下の通りです。

- 1 一般選抜では、大学入学共通テストにおいて国語、外国語及び任意の1科目の合計3科目を課し、大学での学習に必要な知識、技能、思考力等を測り評価します。また、個別学力検査等において、実技検査、小論文、面接（プレゼンテーションを含む）を実施し、専門分野における基礎的能力、主体性及び将来性を測り評価します。面接においては多面的・総合的な評価を行うために、調査書及び志願者本人の記載する資料等を活用します。
- 2 学校推薦型選抜では、絵画・デザイン・工芸各専攻は課題作品、小論文の提出と面接（プレゼンテーションを含む）を、芸術学専攻は小論文の提出と面接、口述試験を実施し、大学での学習に必要な知識、技能、専門分野における基礎的能力、主体性及び将来性を測り評価します。面接においては多面的・総合的な評価を行うために、調査書及び高等学校長からの推薦書、志願者本人の記載する資料等を活用します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

沖縄県立芸術大学美術工芸学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を獲得できるよう、大学カリキュラム・ポリシーを基本に、以下のとおりカリキュラムを編成し、実施します。

- 1 専門分野の実技と理論において、必須科目を中心とした体系的な授業科目の編成
- 2 専門教育の4年間にわたる段階的履修
- 3 自らの学修計画に基づき主体的に履修できる選択科目の編成
- 4 大学の学修活動全体を通じて汎用的基礎能力を育成する教育の実施
- 5 現代社会における美術・デザイン・工芸の役割を認識し、地域との連携を図り、社会との関係を学ぶ教育の実施

学修成果の評価は、評価の観点を示した上で授業科目の学習目標の達成度を基準に、作品・論文・レポート・筆記試験等により行います。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学美術工芸学部では、大学ディプロマ・ポリシーを基本に、加えて以下に掲げる学修成果を獲得し、最終学年における卒業作品又は卒業論文の提出を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

- 1 美術・デザイン・工芸の分野における基本的な知識を体系的に理解している。
- 2 自己の創造的活動を歴史、文化、社会、自然等と関連付けて考察できる。
- 3 専攻分野の専門的な技能と研究能力を身につけている。
- 4 卒業後も主体的に創作、研究を継続し、それらを社会に発信する意欲と能力を備えている。

音楽学部アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

沖縄県立芸術大学音楽学部では、沖縄の地で育まれた個性の美である伝統芸能はもとより、西洋・東洋にわたる芸術音楽を体系的に研究教授し、将来、実演家、教育者、研究者をはじめとして、音楽芸術分野において社会に貢献できる人材の養成をめざします。

豊かな表現力と高い技術力、そして理論的思考力を涵養し、それらを総合して現代社会に新たな価値をもたらすことのできる人材を育成します。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

大学の教育理念に基づき、沖縄県立芸術大学音楽学部では、沖縄で育まれた個性ある音楽・芸能及び普遍的価値を持つ音楽芸術の体系的な研究を通じ、それらの継承発展とともに新たな芸術創造に寄与できる人材育成を目指します。そのために、専門分野における知識・技能を深めるとともに、広い視野を持って思考し、問題解決を行うために必要な教養を身につける教育を行います。

【求める人材】

音楽学部の教育を達成するために、次に掲げる知識・技能や能力(思考力・判断力・表現力等)、目的意識・意欲等を備えた人材を求めます。

- 1 本学及び音楽学部のポリシーを十分理解し、大学での学習に自律的に取り組むことのできる人
- 2 音楽学部における学習に必要な基礎的知識・技能及び課題解決のための思考力・判断力・表現力を備えている人
- 3 自身の知識・技能をさらに伸ばし、将来、演奏家、作曲家、実演家、研究者又は教育者など、音楽・芸能分野における専門家となる意欲のある人
- 4 芸術創造の営みについて、現代社会との関わりの中で思考し、主体性を持って多様な人々と協働する意欲のある人
- 5 音楽や舞踊、沖縄における芸術文化や本学での学びに関心がある人

【入学者選抜試験の基本方針と実施】

音楽学部においては、学部の教育理念を踏まえ、各専攻の専門性に沿った試験を課し評価します。その際、大学入学前に学んでおくべき内容・水準について、募集要項と併せて公表する『試験曲』によって明示するものとします。また、専攻ごとに設定された多様な入試科目において、学力の3要素（「基礎的な知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性・多様性・協働性」）を総合的に評価します。なお、入試区分及び募集枠ごとに、総合点に基づき合格者の選抜を行います。

各入試区分における評価方法は以下の通りです。

- 1 一般選抜では、大学入学共通テストにおいて国語、外国語の2科目を課し、大学での学習に必要な知識・技能、思考力等を測り評価します。また、個別学力検査等において、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）、音楽に関する基礎能力検査（楽典、聴音、新曲視唱、副科ピアノ等）及び面接を課し、専門分野における基礎的能力、主体性及び将来性を測り評価します。本区分においては、全般的な学習能力について総合的に評価します。面接においては多面的・総合的な評価を行うために、調査書及び志願者本人の記載する資料等を活用します。
- 2 学校推薦型選抜では、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）、音楽に関する基礎能力検査（楽典、聴音、新曲視唱、副科ピアノ等）及び面接を課し、大学での学習に必要な知識、技能及び主体性等を測り評価します。本区分においては、専門分野における高い能力、調査書及び志願者本人の記載する書類等をもとに実施する面接等における評価を重視します。また、高等学校長からの推薦書を活用します。
- 3 社会人選抜では、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）を課し、大学での学習に必要な知識、技能、思考力及び主体性などを測り評価します。本区分では、専攻実技の習熟度及び小論文・口述試験の内容を重視し評価します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

音楽学部では、沖縄の地で育まれた伝統芸能とともに、世界の芸術音楽を体系的に教授し、将来、実演家・教育者・研究者ならびに広く音楽芸術分野に貢献できる人材の育成をめざします。

上記の人材を育成することを目標として、大学カリキュラム・ポリシーを基本に次のとおりカリキュラムを編成し、実施します。

- 1 少人数による教育
- 2 専門教育の4年間にわたる段階的履修
- 3 専門分野の実技と理論における体系的・横断的な授業科目の編成
- 4 全学教育科目における芸術諸分野及び教養に関する教育
- 5 地域社会との連携を図り社会との関係を学ぶ科目の提供
- 6 学生の多様な関心に対応し学習できる選択科目の設定

学修成果の評価は、評価の観点を示した上で学習目標の達成度を基準に、演奏・演舞・作品・実践・レポート・筆記試験等により行います。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学音楽学部では、大学ディプロマ・ポリシーに基づき、以下に掲げる学修成果を修め、最終学年における卒業演奏又は卒業作品、卒業論文、卒業研究の提出を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

- 1 音楽・芸能の各分野における専門的な知識と実演、創作等の技能を修得していること。
- 2 大学の学修で養った汎用的基礎能力を活かし、主体的に研究を継続し、それらを社会に発信できる能力を備えていること。

第2 募集人員・出願資格・推薦人員・選抜方法

新型コロナウイルス感染拡大の状況をふまえ、安全かつ円滑に入学選抜試験を実施するため、遠隔入試を導入する。遠隔入試とは、受験生が来校せずに受験する入試を指し、郵送、オンライン、メール、電話等を利用した試験である。遠隔入試実施の詳細については、随時大学ホームページにて公表するので、留意すること。

美術工芸学部及び音楽学部の学科・専攻別募集人員、出願資格、高等学校からの推薦人員及び選抜方法は次のとおりである。

1 美術工芸学部

(1) 募集人員

学科	専攻	募集人員	
		県内枠	全国枠
美術学科	絵画専攻	1人	1人
	芸術学専攻	1人	1人
デザイン工芸学科	デザイン専攻	2人	2人
	工芸専攻	5人	5人
計		18人	

注1：工芸専攻では2年次前期終了時に漆芸分野、染分野、織分野、陶芸分野の選別（選択制）を行い決定します。

注2：学校推薦型選抜の県内、全国それぞれの枠で定員に満たなかった人員は、他方の枠に導入することがある。

(2) 出願資格

次の要件をすべて満たしている者

① 高等学校又は中等教育学校を令和3年3月に卒業見込みの者（令和2年度の学年の中途において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。）

なお、県内枠に該当する受験者は、沖縄県内の高等学校を令和3年3月に卒業見込みの者（令和2年度の学年の中途において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。）で、本人又は保護者が令和2年4月1日以前から引き続き沖縄県内に住所を有している者とする。

- ② 学業成績・人物ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者
- ③ 調査書の学習成績概評がB段階以上の者
- ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者

(3) 高等学校からの推薦人員

学科	専攻	推薦人員
美術学科	絵画専攻	1高等学校につき2人
	芸術学専攻	1高等学校につき2人
デザイン工芸学科	デザイン専攻	1高等学校につき2人
	工芸専攻	1高等学校につき2人

(4) 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、出身学校長が作成した調査書・推薦書・志願理由書等の出願書類及び次に示す選抜試験の成績結果を総合的に判断して合格者を決定する。

今年度は遠隔試験を実施する。

課題作品、小論文等の提出物は出願時に送付すること。

ア 美術工芸学部 美術学科 絵画専攻

【課題作品】

①日本画（素描・着彩）、油画（素描・着彩）いずれかの課題を選択する。

・日本画素描課題：「素描として、モチーフ：手を細密描写しなさい。」

用紙及び画材：画用紙に鉛筆

作品サイズ：4つ切判、画面の縦・横は自由。B3パネルに水張り可。

・日本画着彩課題：「自画像を自由に着色写生しなさい。」

用紙及び画材：画用紙に水彩用具

作品サイズ：F15号、画面の縦・横は自由。F15号パネルに水張り可。

・油画素描課題：「窓を主題として自由に描きなさい。」

用紙及び画材：用紙は木炭紙又は画用紙。画材は木炭又は鉛筆。

作品サイズ：木炭紙は木炭紙判・画用紙は4つ切判、画面の縦・横は自由。画用紙の場合はB3パネルに水張り可。

・油画着彩課題：「自画像を自由に着彩しなさい。」

用紙及び画材：キャンバス又は画用紙に、油彩用具又はアクリル・水彩用具。

作品サイズ：F15号、画面の縦・横は自由。画用紙の場合はF15号パネルに水張り可。

②受験者本人がこれまでに制作した作品をA4サイズのクリアファイル1冊・10点以内（氏名・作品サイズ等を明記する）にまとめた作品集。

※課題作品①②は、出願時に送付すること。①については返却しない。

②については試験終了後に返却する。

※課題作品は、すべて自作であること。

【小論文】

課題「あなたの好きな絵画作品を2点取り上げて論じなさい。」

（400字詰め原稿用紙に（B4版・縦書）手書きで1,200字以内）

※出願書類と一緒に提出すること。（返却しない）

【面接】

課題作品①②及び小論文、出願書類を基に面接試験を実施する。

※面接試験の実施方法及び開始時間については、各入学志願者に連絡する。

イ 美術工芸学部 美術学科 芸術学専攻

【小論文】

課題「あなたの関心のある好きな芸術について自由に論じなさい。」

（400字詰め原稿用紙（B4版・縦書）手書きで7枚2,800字以内）

※タイトルは自分でつけること。

※出願書類と一緒に提出すること。（返却しない）

【口述試験】

小論文を基に口述試験を実施する。

【面接】

出願書類を基に面接試験を実施する。

※口述試験・面接試験の実施方法及び開始時間については、各入学志願者に連絡する。

ウ 美術工芸学部 デザイン工芸学科 デザイン専攻

【課題作品】

①「デッサン」 作品の大きさB3

モチーフ：ペットボトル（500ml銘柄自由）、リンゴ1個にあと1点のモチーフ（自分で選んだもの）を加えて、画用紙に鉛筆デッサンした作品。

②上記①以外に、面接時の参考作品として、受験者が3年以内に制作したもの（3点以上・10点以内、立体作品、サイズの大きい作品は写真にすること）をA4のクリアファイル1冊にまとめた作品集（氏名を明記する）。

※B3のデッサン作品は4つ折にして作品集と共に送付すること。（返却しない）。

【小論文】

課題「あなたが感動した日常のデザインについて述べなさい。」

（400字詰め原稿用紙（B4版・縦書）手書きで1,200字以内）

※小論文については、出願書類と一緒に提出すること。（返却しない）

【面接】

課題作品①②及び小論文を基に面接試験を実施する。

※面接試験の実施方法及び開始時間については、各入学志願者に連絡する。

エ 美術工芸学部 デザイン工芸学科 工芸専攻

【課題作品】

①「鉛筆デッサン」 作品の大きさA3サイズの画用紙（水張りパネル不可）

モチーフ：ペットボトル（500ml銘柄自由）・野菜または果物、以上2点のモチーフを自由に配置して鉛筆デッサンした作品。

②「作品ファイル・収集資料」 A3サイズのファイル1冊にまとめる。

これまでに制作した作品や収集資料などのあなたの美意識をアピールできるもの。

※課題作品①②は出願時に送付すること。①については3枚提出すること（返却しない）。②については試験終了後に返却する。

【小論文】

あなたが作品制作をする際にテーマにしたいと思う「美しい自然（動植物・風景・現象など）」について述べなさい。

（400字詰め原稿用紙（B4版・縦書）手書きで2,000字以内）

※小論文は、出願書類と一緒に提出すること。（返却しない）

【面接】

小論文や調査書、推薦書等を基に面接を実施する。また、作品ファイルや収集資料等の中から、自分がアピールしたい主要な物を選び、それを基にプレゼンテーションを実施する。

※面接試験の実施方法及び開始時間については、各入学志願者に連絡する。

(5) 試験科目一覧

学科・専攻		試験科目	小論文	課題作品	面接	口述試験
美術学科	絵画専攻		◎	◎	◎	
	芸術学専攻		◎		◎	◎
デザイン専攻学科	デザイン専攻		◎	◎	◎	
	工芸専攻		◎	◎	◎	

注：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目を示す。

2 音楽学部

(1) 募集人員

学科	専攻	募集人員	
		県内枠	全国枠
音 楽 学 科	音 楽 表 現 専 攻	3人	3人
	音 楽 文 化 専 攻	2人	1人
	琉 球 芸 能 専 攻	4人	1人
計		9人	5人

注：学校推薦型選抜の県内、全国それぞれの枠で定員に満たなかった人員は他方の枠に導入することがある。

(2) 出願資格

次の要件をすべて満たしている者

- ① 高等学校又は中等教育学校を令和3年3月に卒業見込みの者（令和2年度の学年の中途において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。）
 なお、県内枠に該当する受験者は、沖縄県内の高等学校を令和3年3月に卒業見込みの者（令和2年度の学年の中途において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。）で、本人又は保護者が令和2年4月1日以前から引き続き沖縄県内に住所を有している者とする。
 - ② 学業成績・人物ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 - ③ 調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者。ただし琉球芸能専攻受験者は3.0以上の者
 - ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- （注）出願できる専攻・コースは一つとする。

(3) 高等学校からの推薦人員

学科	専攻・コース		推薦人員
音 楽 学 科	音 楽 表 現 専 攻	声 楽 コ ー ス ピ ア ノ コ ー ス 弦 楽 コ ー ス 管 打 楽 コ ー ス 作 曲 理 論 コ ー ス	各コース 1高等学校につき2人
	音 楽 文 化 専 攻	沖 縄 文 化 コ ー ス 音 楽 学 コ ー ス	各コース 1高等学校につき2人
	琉 球 芸 能 専 攻		県内 制限しない 県外 1高等学校につき1人

(4) 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、出身学校長が作成した調査書・推薦書・志願理由書等の出願書類及び次に示す選抜試験の成績結果を総合的に判断して合格者を決定する。

今年度は遠隔試験を実施する。

実技検査、小論文、副科ピアノ、音楽又は舞踊の実技の提出物は、出願時に送付すること。

コールユーブンゲン、初見視唱、口述試験、楽典、面接は、オンラインで実施する。

初見演技、聴音、新曲視唱、初見視奏は、今年度は実施しない。

ア 音楽学部 音楽学科 音楽表現専攻

【専攻試験】
 【音楽に関する基礎能力検査】 } 詳細については、別冊子「令和3年度音楽学部試験曲」
 に記載する。

【面接】

人物の志向性や学習を行う意欲、芸術を志す者としての資質さらに表現力をみるため、5～10分程度の面接を実施する。

イ 音楽学部 音楽学科 音楽文化専攻

【専攻試験】 } 詳細については、別冊子「令和3年度音楽学部試験曲」
 【音楽に関する基礎能力検査】 } に記載する。
 【面接】

人物の志向性や学習を行う意欲、芸術を志す者としての資質さらに表現力をみるため、5～10分程度の面接を実施する。

ウ 音楽学部 音楽学科 琉球芸能専攻

【専攻試験】 } 詳細については、別冊子「令和3年度音楽学部試験曲」
 【音楽に関する基礎能力検査】 } に記載する。
 【面接】

人物の志向性や学習を行う意欲、芸術を志す者としての資質さらに表現力をみるため、5～10分程度の面接を実施する。

(5) 試験科目一覧

試験科目 専攻・コース		専攻試験					音楽に関する基礎能力検査						面接
		実技検査	コール ユーンゲン	初見 視唱	小論文	口述 試験	楽典 (※注2)	聴音	新曲 視唱	副科 ピアノ	初見 視奏	音楽又 は舞踊の 実技 (※注3)	
音楽 表現 専攻	声楽 コース	◎	◎				◎			◎			◎
	ピアノ コース	◎					◎						◎
	弦楽 コース	◎					◎			◎			◎
	管打楽 コース	◎					◎			◎			◎
	作曲理論 コース	◎				◎				◎			◎
音楽文化 専攻	沖縄文化 コース				◎	◎	◎					◎	◎
	音楽学 コース				◎	◎				◎			◎
琉球芸能 専攻	琉球 古典音楽 コース	◎					◎						◎
	琉球 舞踊組踊 コース	◎		◎			◎						◎

注1：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目を示す。

注2：沖縄文化コース及び琉球芸能専攻の楽典については、音楽表現専攻の楽典とは別問題とする。

注3：音楽又は舞踊の実技の種目は問わない。

注4：声楽、弦楽、管打楽、琉球古典音楽コース入学志願者の専攻試験の種目は以下のとおりである。

(声楽) ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス

(弦楽) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

(管打楽) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、テナートロンボーン、バストロンボーン、テューバ、打楽器(A：小太鼓、B：マリンバ)

(琉球古典音楽) 歌三線、琉球箏曲

*作曲理論コースでは、令和4年度選抜から楽典を必ず受験しなければならない科目とする。

*ピアノコースでは、令和4年度選抜から音楽に関する基礎能力検査において初見視奏を廃止し、新曲視唱を課す。

第3 出願手続

1 出願期間

令和2年11月1日（日）から11月8日（日）まで

2 出願方法

次の出願書類等の所要事項を記入して①～⑧の順序で重ね、本学所定の封筒（綴り込みの教務学生課あての封筒）に入れ、郵送（書留郵便で速達）すること。ただし、11月8日（日）当日までの郵送発信局消印のあるものは期限後に到着しても有効とする。

出願書類等	摘 要
①学校推薦型選抜 願書・受験票・ 写真票 (綴込用紙)	ア 本学所定の用紙に所要事項を漏れなく記入すること。 イ 記入はすべてペン又はボールペン（黒又は青）を使用し、楷書で丁寧かつ正確に記入すること。 ウ 訂正した箇所には、必ず訂正印を押すこと。 エ 「受験番号欄」、「出欠確認欄」等太枠線内は記入しないこと。 オ 受験票、写真票には、上半身、無帽、正面、出願前3カ月以内に撮影した同一写真（縦4cm、横3cm）を貼り付けること。
②入学考査料	ア 17,000円（納入方法は郵便局の発行する普通為替証書に限る） イ 普通為替証書の指定受取人欄、払渡局欄等は一切記入しないこと。 ウ いったん納入した入学考査料はいかなる理由があっても返還しない。
③領収書・領収書原 符（綴込用紙）	「領収書・領収書原符」は納入義務者欄に入学志願者本人の住所・氏名を記入し、普通為替証書と一緒に提出すること。
④調査書※	文部科学省所定の様式に従い、出身高等学校長が作成し厳封したものを提出すること。
⑤推薦書※ (綴込用紙)	本学所定の用紙を使用して、出身高等学校長が作成し厳封したものを提出すること。
⑥志願理由書※ (綴込用紙)	本学所定の志願理由書に、本人自身が記入し、提出すること。
⑦受験票送付用封筒 (綴込封筒)	本学所定の「受験票在中」の封筒の表に入学志願者の郵便番号、住所、氏名を記入し、速達料金374円分の切手を貼って提出すること。
⑧その他※	入学志願者本人か配偶者、又は一親等親族が令和2年4月1日以前から県内に住所を有する者は、合格した場合に入学料が軽減されるので、該当者の住民票抄本を提出すること。なお、住民票抄本が提出されない場合、入学料の算定は県外在住者と同様に扱う。 ----- 絵画専攻、デザイン専攻、工芸専攻受験者は、課題作品と小論文を提出すること。芸術学専攻は、小論文を提出すること。 ----- 音楽表現専攻・琉球芸能専攻入学志願者は、実技検査の録画媒体（DVD、USBメモリ、SDカードのいずれか）を提出すること。（作曲理論コースを除く） ----- 音楽表現専攻作曲理論コース入学志願者は、作曲又は編曲作品の楽譜を提出すること。 ----- 音楽文化専攻入学志願者は、小論文を提出すること。 ----- 音楽文化専攻沖縄文化コース入学志願者は、音楽又は舞踊の実技の録画媒体（DVD、USBメモリ、SDカードのいずれか）を提出すること。 ----- 音楽表現専攻声楽コース、弦楽コース、管打楽コース、作曲理論コース、音楽文化専攻音楽学コース入学志願者は、副科ピアノの録画媒体（DVD、USBメモリ、SDカードのいずれか）を提出すること。）

※④調査書における、令和2年度の活動等の記載にあたり、新型コロナウイルス感染症の影響により、記載事項に影響を生じる場合は、志願者の成果獲得に向けた努力のプロセスや内容について、⑤推薦書に記載するとともに、そこから学んだ事柄について、⑥志願理由書に記載すること。

※⑧録画媒体の本体またはケースに、受験するコースと氏名を記入し、郵送中に破損しないように梱包すること。提出された録画媒体は返却しない。

3 出願先

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地 沖縄県立芸術大学事務局 教務学生課 電話 (098) 882-5080
--

4 出願上の注意

- ア 国公立大学の推薦入試への出願は、1つの大学・学部に限られる。
- イ 推薦入試志願者は不合格となった場合に備えて、一般入試の分離分割前期日程・後期日程又は公立大学中期日程について、自由に3つまでの大学・学部にも併願することができる。ただし、大学入学共通テスト試験の指定教科・科目を受験していること、入学検定料を新たに納入することが必要である。
- ウ 出願書類の入学志願者の氏名は、通称・略字等は使用せず、丁寧かつ正確に記入すること。出願書類に記入漏れ、その他不備のある場合は受け付けない。
- エ 出願書類の受付後は、出願書類の返却及び記載事項の変更は一切認めない。
- オ 出願書類の記載と事実が相違する場合は、入学後でも入学の許可を取り消すことがある。
(音楽学部の出願者のみ)
- カ **声楽コース**入学志願者は、次の中から1声種を選択し、出願すること。
ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス
- キ **弦楽コース、管打楽コース**入学志願者は、次の楽器の中から1種を選択し、出願すること。
(弦楽器) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス
(管打楽器) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、テナートロンボーン、バストロンボーン、チューバ、
打楽器 (A：小太鼓、B：マリンバ)
- ク **琉球芸能専攻琉球古典音楽コース**入学志願者は、次の中から1種を選択し、出願すること。
歌三線、琉球箏曲

4 試験期日

美術工芸学部試験日程

令和2年11月21日(土)、11月22日(日)のいずれか指定する1日

※面接時間については、個別に連絡する。指定された時間の10分前にはオンライン接続できるよう待機すること。

音楽学部試験日程

令和2年11月21日(土)～11月22日(日)

※コールキューブゲン、初見視唱、口述試験、楽典、面接の時間については、個別に連絡する。指定された時間の10分前にはオンライン接続できるよう待機すること。

第5 受験上の注意

- (1) 受験生にはパソコン、スマートフォン、タブレット等の通信機器と、インターネット回線に接続できる通信環境を用意し、試験時には個室に1人で対応できる環境を整えることを求める。なお、事前に接続テストを行うので、その際も同じ環境で行うこと。
- (2) 試験に使用できる通信機器は1台とし（緊急時を除く）、試験中は電源に接続するか、事前に充電を行い、試験中に電源が切れることのないようにすること。
- (3) 受験者は、指定時刻にオンラインに接続できるよう待機すること。なお、試験当日は、余裕を持って待機すること。
- (4) 試験中の録画・録音は禁止する。
- (5) 通信機器が接続不可能となった場合は大学(098-882-5080)と連絡をとり、対応を相談すること。
- (6) 試験中に不正行為が発覚した場合は、失格とする。また、試験の実施後に不正行為が発覚した場合についても、失格または合格取消とする。
- (7) 試験当日は、「本学受験票」を必ず携帯すること。
- (8) 指定時刻に遅れた者は、原則として受験を許可しない。ただし、やむを得ない事情（公的事情）により遅刻した場合は、ただちに大学に申し出ること。
- (9) 試験時間中は、監督者の指示に従うこと。
- (10) 試験の内容に関する質問には、一切答えない。

第6 合格者の発表

令和2年12月4日（金） 午前10時

合格者の受験番号は本学ホームページ（<http://www.okigei.ac.jp>）に掲載する。

また、合格者には発表と同時に合格通知書及び入学者心得（入学手続書類）を郵送する。

第7 入学手続

1 入学手続期間

令和2年12月11日（金）～12月18日（金） 入学手続書類等は郵送にて提出すること。

※12月18日（金）の郵送発信局消印有効

2 提出書類

誓約書、保証書

※大学入学共通テスト試験受験票（大学入学共通テスト試験志願者のみ）

3 入学料の納入

入 学 料 282,000円 県内居住者以外の者 512,000円

納入期限 入学料は本学指定の納入通知書により入学手続時までには納入すること。

※県内居住者：入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者。

なお、入学料以外の授業料・実習経費・学外研究費については、本要項の「学生生活」を参照のこと。

4 入学手続送付先

沖縄県立芸術大学事務局教務学生課

5 留意事項

ア 学校推薦型選抜の合格者は、本学の定める入学手続期間中に入学手続を行わなければならない。

イ 学校推薦型選抜の合格者で特別の事情により入学を辞退する場合は、推薦を行った高等学校長を経由して「推薦入学辞退願」を入学手続期間内に本学教務学生課に提出し、本学学長の許可を得た場合に限り、入学辞退を認める。

ウ 学校推薦型選抜合格者は、入学又は入学辞退のいずれかの手続を行わなければならない。このいずれの手続きも行わない場合は、推薦入試合格者としての権利を消失する。この場合は、出願済みの他の国公立大学を受験することができない。たとえ受験しても、受験者として扱われない。

エ 本学においては、入学手続を完了した者に対し、入学までに取り組むべき課題を課すこととしている。

6 入学料の減免について

原則として高等学校の学業成績が3.0以上の者で、かつ、次の各号の一に該当する者を対象に、全額免除又は2分の1減額の可否を審査し決定する。

- ①天災その他不慮の災害により、学費の負担に堪えられなくなった者
- ②生活保護法（昭和25年法律第144号）による保護を受けている者と同一世帯内にある者
- ③前記①、②のほか、特別の事情により学費の納付が著しく困難な者

第8 その他

1 障がい有する等の入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で障がいのある者等は、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性があるため、出願の前にあらかじめ本学に申し出ること。また、申し出に基づき相談が必要になった場合は以下によること。

- (1) 申し出期限 令和2年10月2日（金）午後5時まで
- (2) 相談の方法 本学指定の様式による相談申込書（健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行う。
- (3) 連絡先 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課
電話番号 (098) 882-5080

2 入試成績開示請求について

沖縄県個人情報保護条例に基づき、入試成績については、口頭により受験者本人が自己の入試成績の開示を請求することができる。詳細は「令和3年度入学者選抜要項」を参照すること。

大 学 案 内

建学の理念

- (1) 日本文化の中における沖縄の地域文化の特性と伝統は、極めて特徴的であり、文化伝統の源流を探り、文化生成の普遍性を究めるために不可欠の内容をもつものである。わけても沖縄固有の風土によって培われた個性的な芸術文化の継承と創造の問題は、日本文化としてはもちろんのこと、沖縄県にとっても重要な課題であるといわざるを得ない。そして、それらを担う人材の育成もまた長い未来への架橋として緊要なことである。
- (2) 県立芸術大学を建学する基本的な精神は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追求することにあるが、そのためには、地域文化の個性を明らかにし、その中に占める美術・工芸・音楽・芸能等さまざまな伝統芸術の問題に積極的かつ具体的に取り組み、その特性を生かすことでなければならない。このことは、日本文化の内容をより豊かにするとともに、ひいては、国際的な芸術的文化活動にも寄与するものと信ずる。
- (3) 我が国の最南に位置する県立芸術大学は、東アジア、東南アジアを軸とした太平洋文化圏の中心として、それらの地域における多様な芸術文化の実態と、地域文化伝統の個性とのかかわりを明らかにし、その広がりを追求し、汎アジア的芸術文化に特色をおいたユニークな研究教育機関にしたい。

沖縄県立芸術大学の概要

1 設置目的

沖縄県立芸術大学は、広く教養を養い、深く専門芸術の技術、理論及び歴史を教授研究して、人間性と芸術的創造力及び応用力を育成し、もって伝統芸術文化と世界の芸術文化の向上発展に寄与することを目的とする。

2 設置者 沖縄県

3 設置場所

首里当蔵キャンパス	〒903-8602 那覇市首里当蔵町1丁目4番地 本部 美術工芸学部（絵画専攻、芸術学専攻） 音楽学部（全専攻） 附属図書・芸術資料館 奏楽堂 体育館
首里崎山キャンパス	〒903-0814 那覇市首里崎山町4丁目212番1 美術工芸学部（彫刻専攻、デザイン専攻、工芸専攻）
首里金城キャンパス	〒903-0815 那覇市首里金城町3丁目6番地 附属研究所

4 修業年限及び学位

- (1) 修業年限 4年
- (2) 学 位 学士（芸術）

5 教員免許状

教育職員免許法に定められた所定の単位を修得すれば、中学校教諭1種免許状（美術又は音楽）と高等学校教諭1種免許状（美術、工芸又は音楽）を取得することができる。

6 学芸員資格

博物館学課程所定の単位を取得すれば、学芸員の資格を取得することができる。

7 収容定員

学 部	学 科	専 攻	収容定員	
			入学定員	総定員
美術工芸学部	美術学科	絵画専攻	10	40
		彫刻専攻	5	20
		芸術学専攻	6	24
	デザイン工芸学科	デザイン専攻	20	80
		工芸専攻	24	96
小 計			65	260
音楽学部	音楽学科	音楽表現専攻	23	92
		音楽文化専攻	7	28
		琉球芸能専攻	10	40
	小 計			40
合 計			105	420

1 入学料及び授業料

- (1) 入学料 県内居住者 282,000円 県内居住者以外の者 512,000円
- (2) 授業料 年額 535,800円 (内訳 前期分267,900円、後期分267,900円)
- 納入期限 前期授業料は各年度の4月30日まで、後期授業料は各年度の10月31日までに納入すること。ただし、納入期限が土・日曜日又は国民の祝日にあたる場合は、その翌日までに納入すること。
- (3) 入学料及び授業料の減免
- 原則として高等学校の学業成績が3.0以上の者で、かつ、次の各号の一に該当する者を対象に、全額免除又は2分の1減額の可否を審査し決定する。
- ①天災その他不慮の災害により、学費の負担に堪えられなくなった者
 - ②生活保護法（昭和25年法律第144号）による保護を受けている者と同一世帯内にある者
 - ③前記①、②のほか、特別の事情により学費の納付が著しく困難な者

2 授業料以外に必要な経費

- (1) 実習経費（美術工芸学部・音楽学部琉球芸能専攻）
- 美術工芸学部では、実習経費（4年間分）は次のとおりで、入学時に一括して納入し、過不足が生じた場合は入学後調整することになる。
- ①絵画専攻 (油画)300,000円 (日本画)320,000円
 - ②彫刻専攻 330,000円
 - ③芸術学専攻 70,000円
 - ④デザイン専攻 170,000円
 - ⑤工芸専攻 320,000円
- 音楽学部琉球芸能専攻では次の経費が必要となる。
- ①古典音楽コース 約70,000円（黒朝・ハチマチ・長着稽古着代）
 - ②舞踊組踊コース 約14,000円（長着稽古着代）
- (2) 学外研究費（美術工芸学部・音楽学部琉球芸能専攻）
- 美術工芸学部では、各専攻とも2年次あるいは3年次に予定している必修科目の経費として、各専攻180,000円（芸術学専攻は160,000円）を入学時に納入し、過不足が生じた場合は入学後調整することになる。
- 音楽学部音楽学科琉球芸能専攻では、3・4年次に予定している選択科目の経費として、実施年次に約150,000円が必要となる。
- (3) 音楽事業演習費（音楽学部音楽学科音楽文化専攻沖縄文化コース）
- 音楽学部音楽学科音楽文化専攻沖縄文化コースでは、3年次に行われる必修科目の経費として、県外施設等で研修する場合は、実施年次に80,000円～120,000円程度が必要となる。

3 奨学金制度

本学の学生で、人物、学力ともに優れ、かつ、健康で経済的理由により修学が困難と認められる者には、次の奨学金制度がある。

- (1) 日本学生支援機構奨学金（貸与）
- (2) （公財）沖縄県国際交流・人材育成財団奨学金（貸与）（沖縄県出身者のみ）
- (3) （公財）沖縄県立芸術大学芸術振興財団奨学金（給付）
- (4) その他（地方公共団体、財団法人、その他奨学金制度の適用）

4 学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険及び学研災付帯学生生活総合保険への加入

学生教育研究災害傷害保険（以下「学研災」という。）は、学生が①講義、実験・実習等への正課中、②学校行事中、③①②以外で大学の施設にいる間、④大学施設外で大学に届け出た課外活動を行っている間、⑤通学中、⑥学校施設等相互間の移動中に不慮の事故により傷害を受けた場合に、保険金を支給する全国規模の補償制度である。

また、学研災付帯賠償責任保険（以下「付帯賠」という。）は、国内において、学生が正課、学校行事及びその往復中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する。

上記の保険は、保険期間中に応じた少額の掛金を一度納入することにより、当期間中の災害に対し、治療日数及び災害内容に応じた補償がなされるので、万一の事故に備え、本学学生は全員加入すること。なお、加入手続は、オリエンテーションの際に行う。

学研災付帯学生生活総合保険は、「学研災」及び「付帯賠」の正課・学校行事中を補償する保険では不足すると思われる、24時間補償の保険である。

「学研災」や「付帯賠」とは異なり、保険の加入手続等は引受保険会社と直接行うこととなる。（加入にあたっては、「学研災」や「付帯賠」に加入している学生に限り加入できる。）

※「学研災」及び「付帯賠」保険に係る掛金（保険料）と保険期間

	掛金（保険料）合計金額 （4年間分）	保険期間
学生教育研究災害傷害保険 学研災付帯賠償責任保険	4,660円	4年

（注）この保険に関する照会は、沖縄県立芸術大学事務局教務学生課に行くこと。

5 その他

本学には、学生寮施設がないので、学生はすべて自宅通学又は借家による通学となる。

令和3年度 沖縄県立芸術大学
美術工芸学部学校推薦型選抜願書

受験番号		◇記入はすべてペン又はボールペン(黒又は青)を使用し、楷書で丁寧に記入すること。 ◇太枠線内は記入しないこと。 ◇遠隔試験を実施するため、メールアドレスは正確に記載すること ◇絵画専攻の受験者は、課題作品試験を選択する必要があるため、写真票及び受験票の【油画・日本画】のどちらかに○を記入すること。
ふりがな	男女	
氏名		
生年月日	昭和・平成 年 月 日生	
志望学科専攻	美術工芸学部 学科 専攻	
出願資格	立 高等学校 科 令和 年 月卒業・卒業見込(全日制・定時制・通信制) 出身高等学校電話番号() -	
電話番号	携帯電話(本人)	自宅・寮など
住所	〒 -	
メールアドレス		

(切り離さないこと)

令和3年度 沖縄県立芸術大学
美術工芸学部学校推薦型入試選抜受験票

受験番号	
氏名	男・女
志望専攻	専攻
写真 出願前3カ月以内に撮影した写真を貼付(上半身・無帽・正面向) 縦4cm 横3cm	
面接試験日時 月 日 時 試験当日は、本受験票を必ず携帯すること。 試験中は、指定された位置に置くこと。	

令和3年度 沖縄県立芸術大学
美術工芸学部学校推薦型入試選抜写真票

受験番号	
氏名	男・女
志望専攻	専攻
写真 出願前3カ月以内に撮影した写真を貼付(上半身・無帽・正面向) 縦4cm 横3cm	
出欠確認	

(切り離さないこと)

※絵画専攻の課題作品試験の選択【油画・日本画】

※絵画専攻の課題作品試験の選択【油画・日本画】

(切り取り線)

**令和3年度 沖縄県立芸術大学
音楽学部学校推薦型選抜願書**

※受験番号		
ふりがな		男 女
氏名		
生年月日	昭和・平成 年 月 日生	
志望専攻・ コース等	音楽学部 音楽学科 専攻 コース 声種・専攻楽器：	
出願資格	立 高等学校 科 令和 年 月卒業・卒業見込（全日制・定時制・通信制） 出身高等学校電話番号（ ） ー	
電話番号	携帯電話（本人）	自宅・寮など
住所	〒 ー 電話（ ） ー	
メールアドレス		

○記入は、すべてペン又はボールペン（黒又は青）を使用し、楷書で丁寧に記入すること。
○表面の太枠線内は記入しないこと。
○遠隔試験を実施するため、メールアドレスは正確に記載すること。
○裏面も必ず記入すること。

（切り取り線）

(入試願書の裏面)

別冊子「令和3年度音楽学部試験曲」を参照の上、試験曲等の記入を行うこと。

声楽コース

課題曲	(調：)	
自由曲	作曲者名	
	曲名	(調：)

※自由曲に課題曲の17曲を含めることはできない。

ピアノコース

課題曲	A
	B
	C

弦楽コース

課題曲A	
課題曲B	

管打楽コース

※下の表は、打楽器で受験する者のみ記入 A・Bを選択し、B選択者は曲名も記入のこと

選択欄 (○印記入)	内容	曲名
	打楽器(A)	
	打楽器(B) 課題曲②の記号と曲名	

琉球古典音楽コース

課題曲	
自由曲	

琉球舞踊組踊コース

課題曲	
自由曲	

副科ピアノ (声楽・弦楽・管打楽・作曲理論・音楽学コース入学志願者のみ記入)

作曲者名	
曲名	

音楽又は舞踊の実技 (沖縄文化コース入学志願者のみ記入)

音楽実技の場合	曲名(作曲者名) :	使用楽器 :
舞踊実技の場合	演目・ジャンル名 :	

令和3年度 沖縄県立芸術大学
音楽学部学校推薦型選抜受験票

受験番号	
氏名	男・女
志望専攻	専攻 コース
<p>写 真</p> <p>出願前3カ月以内に撮影した写真を貼付（上半身・無帽・正面向） 縦4cm 横3cm</p>	
試験当日は、本受験票を必ず携帯すること。 試験中は、指定された位置に置くこと。	

（切り離さないこと）

令和3年度 沖縄県立芸術大学
音楽学部学校推薦型選抜写真票

受験番号	
氏名	男・女
志望専攻	専攻 コース
<p>写 真</p> <p>出願前3カ月以内に撮影した写真を貼付（上半身・無帽・正面向） 縦4cm 横3cm</p>	
※ 出欠確認	

（切り取り線）

（切り取り線）

(受験票の裏面)

<注意事項>

- ・試験当日は「本受験票」を必ず携帯すること。

※受験番号

令和 年 月 日

推 薦 書

沖縄県立芸術大学長 殿

所在地

学校名

学校長名

印

電 話

下記の者は、貴学が実施する学校推薦型選抜制度の出願資格及び推薦要件に該当する者と認め、責任をもって推薦します。

記

ふりがな

氏 名

男・女 (令和 年 月 日 卒業・卒業見込)

推薦する学部

学部

学科

専攻

コース

- 1 推薦の経緯 (校内における選考方法、推薦希望者数等について具体的に記入してください。)

(裏面も記入すること)

2 推薦理由（芸術について、特に秀でた資質・能力を有すると思われる点等について記入して下さい。）

3 その他、推薦者として特に明記しておきたい事項

※今般の新型コロナウイルス感染症の影響により、調査書等に記載する内容に影響を生じる場合には、成果獲得に向けた努力のプロセスとその評価について記載してください。

※受験番号

令和 年 月 日

志 願 理 由 書

(必ず本人が記入すること。)

1 入学志願者氏名

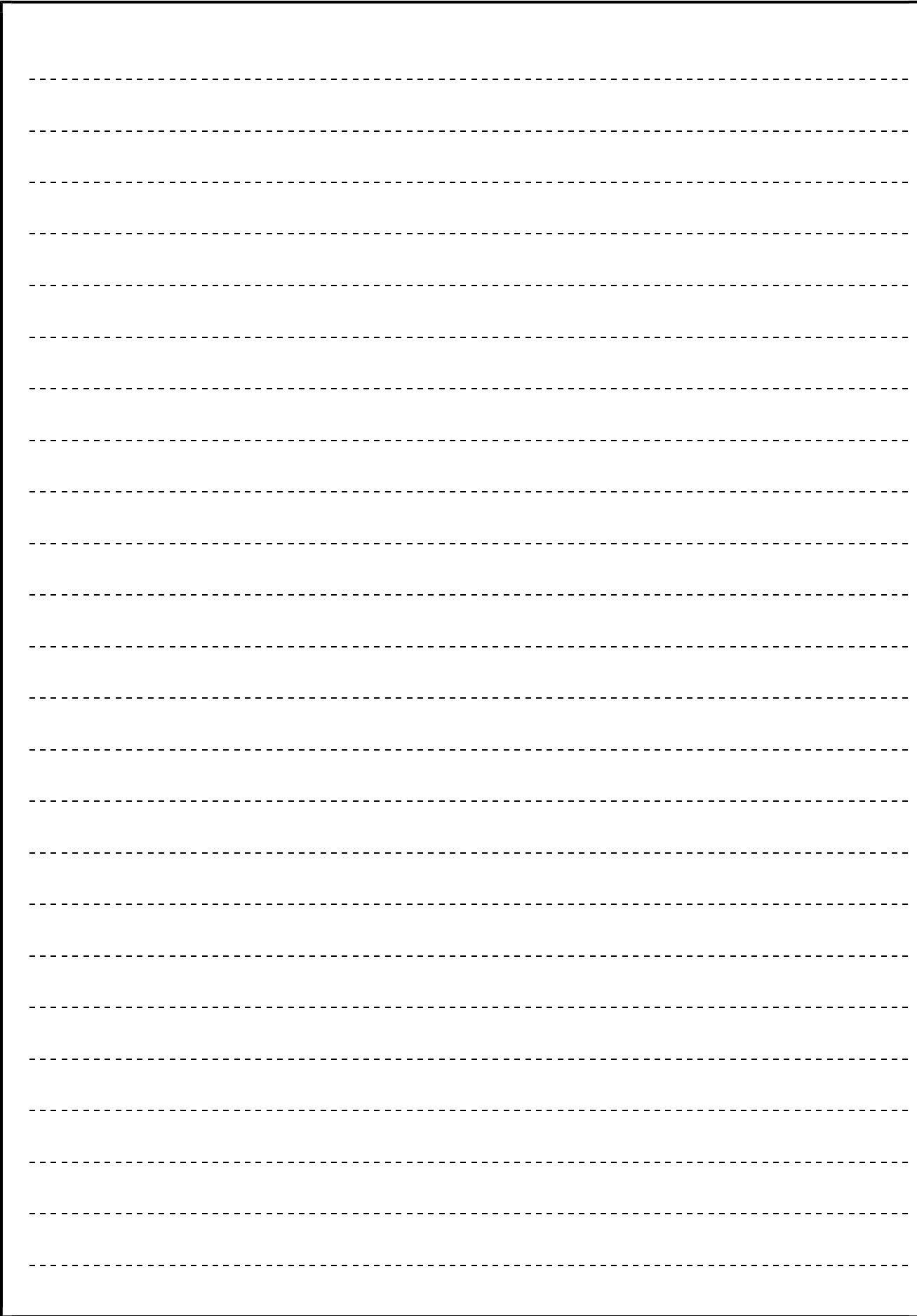
入学志願者住所

2 出身高等学校名

卒業年月日 令和 年 月 日 卒業 ・ 卒業見込

3 志願理由（進学目的、将来の計画、自分の長所や特技等について自薦書となるよう詳細に記入すること。その際、成果獲得に向けた努力のプロセスについて記載するとともに、そこから学んだもっとも重要な事柄について具体的に記載すること。）

裏へ続く



様式第25号

領 収 書				第 号
領収書番号	第 号	調 定 番 号	第 号	号
納入義務者 住所・氏名				
会計年度	令和2年度		一般会計歳入	
金額	百	拾	万	千
	¥17000		百	拾
内 訳				
種別	摘 要			金額
教育手数料	県立芸大入学考査料(学校推薦型選抜)			¥17,000
	普通為替証書			
	番号:			
	美術工芸学部 ※絵画・芸術学・デザイン・工芸 音楽学部 ※音楽表現・音楽文化・琉球芸能			
上記の金額 令和 年 月 日 領収しました。				

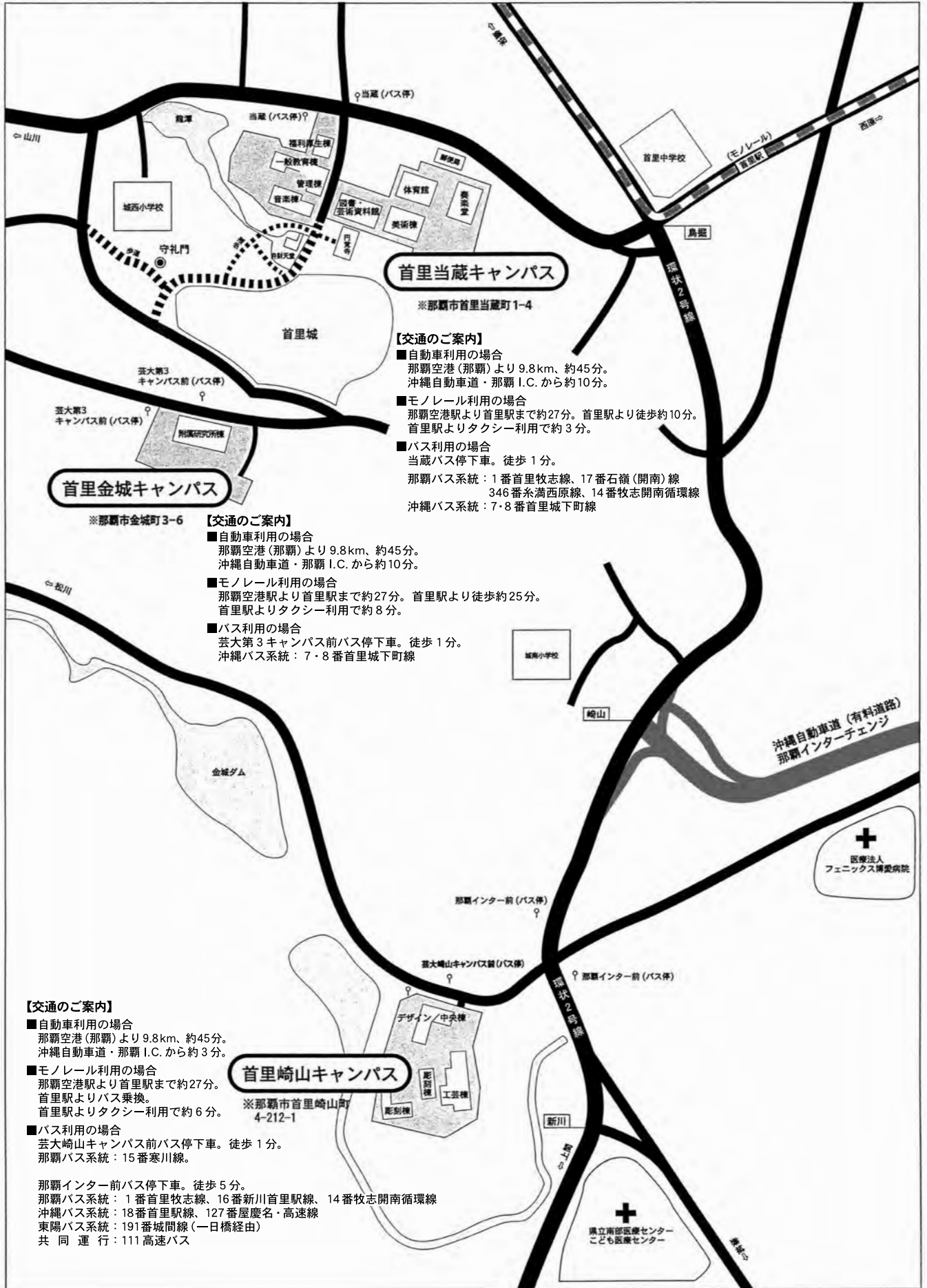
- 1 納入義務者住所・氏名欄に（原符とも）入学志願者住所・氏名を記入すること。（太線枠内）
- 2 ※印は、志願する専攻を○で囲むこと。
- 3 その他の欄は記入しないこと。
- 4 本領収書、領収書原符は銀行用紙ではありません。

(切り離さないこと)

様式第25号

領 収 書 原 符				第 号
領収書番号	第 号	調 定 番 号	第 号	号
納入義務者 住所・氏名				
会計年度	令和2年度		一般会計歳入	
金額	百	拾	万	千
	¥17000		百	拾
内 訳				
種別	摘 要			金額
教育手数料	県立芸大入学考査料(学校推薦型選抜)			¥17,000
	普通為替証書			
	番号:			
	美術工芸学部 ※絵画・芸術学・デザイン・工芸 音楽学部 ※音楽表現・音楽文化・琉球芸能			
上記の金額 令和 年 月 日 領収済印 払込書により 令和 年 月 日 指定（指定代理、収納代理）金融機関				

沖縄県立芸術大学周辺略図



首里当蔵キャンパス

※那覇市首里当蔵町1-4

【交通のご案内】

- 自動車利用の場合
那覇空港(那覇)より9.8km、約45分。
沖縄自動車道・那覇I.C.から約10分。
- モノレール利用の場合
那覇空港駅より首里駅まで約27分。首里駅より徒歩約10分。
首里駅よりタクシー利用で約3分。
- バス利用の場合
当蔵バス停下車。徒歩1分。
那覇バス系統：1番首里牧志線、17番石嶺(開南)線
346番糸満西原線、14番牧志開南循環線
沖縄バス系統：7・8番首里城下町線

首里金城キャンパス

※那覇市金城町3-6

【交通のご案内】

- 自動車利用の場合
那覇空港(那覇)より9.8km、約45分。
沖縄自動車道・那覇I.C.から約10分。
- モノレール利用の場合
那覇空港駅より首里駅まで約27分。首里駅より徒歩約25分。
首里駅よりタクシー利用で約8分。
- バス利用の場合
芸大第3キャンパス前バス停下車。徒歩1分。
沖縄バス系統：7・8番首里城下町線

首里崎山キャンパス

※那覇市首里崎山町4-212-1

【交通のご案内】

- 自動車利用の場合
那覇空港(那覇)より9.8km、約45分。
沖縄自動車道・那覇I.C.から約3分。
- モノレール利用の場合
那覇空港駅より首里駅まで約27分。
首里駅よりバス乗換。
首里駅よりタクシー利用で約6分。
- バス利用の場合
芸大崎山キャンパス前バス停下車。徒歩1分。
那覇バス系統：15番寒川線。
那覇インター前バス停下車。徒歩5分。
那覇バス系統：1番首里牧志線、16番新川首里駅線、14番牧志開南循環線
沖縄バス系統：18番首里駅線、127番慶名・高速線
東陽バス系統：191番城間線(一日橋経由)
共同運行：111高速バス

